

2月19日

テーマ：人は一度死ぬことと、死後の裁きが

聖書箇所：ヘブル人への手紙9章27節

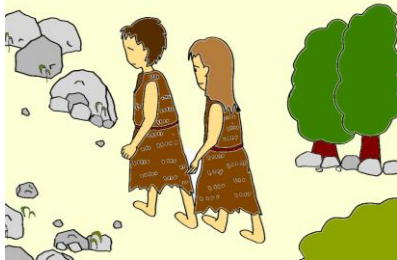
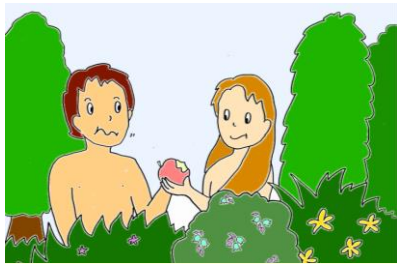
◆今日のみことば

人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、
ヘブル人への手紙9章27節

◆メッセージ

親戚のおじいさんが亡くなったり、学校のお友達が病気で亡くなったときや、多くの人たちが事故で亡くなったりするニュースを見ると、自分もいつか亡くなるのだ、私は死んだらどうなるのと考えたことがありますか。

人間は必ず死にます。聖書を見ると創世記3章に、神さまは人に「それを食べると、あなたは必ず死ぬ」と言われたことばがあります。アダムとエバは、神さまのおことばよりも、自分の考えや思いの方を選んでしまいました。神さまのみことば通り、人は死んで、肉の身体がなくなってしまうようになりました。死んで終わりではありません。人が死ぬのと同じ確かさで、神さまのさばきを受けることが言



われています。死んだ後、神さまの前で、行ったこと、口にしたこと、心に思ったこと、すべてが明らかにされて、さばかれることになります。大丈夫でしょうか？神さまが人（アダム）を神のかたちにつくられ、エデンの園に住まわせてあげました。神さまは人に一つだけきびしい注意をしました。それは「エデンの園の果物はどれでも食べても良い。しかし、『良いことと悪いことを判断する力のつく（この表現はどうでしょうか？「知識の）木』の実だけは絶対に食べてはいけない。それを食べると、あなたは必ず死ぬ」でした。神さまはそのあと、女の人（エバ）をつくられました。神さまが注意したことを守らないと「必ず死ぬ」と言われていましたが、二人はサタン（へび？）に誘惑されてその木の実を食べてしまい、神さまから言われた注意を守ることができませんでした。二人はエデンの園から追い出され、自分たちで汗を流して働き、罪人として死んで行くことになったのです。

私たちはうそをついたり、人の悪口を言ったり、たくさんの罪を犯しています。罪人である私たちが、そのままでは天国に行くことはできません。天国は罪のないところだからです。でも安心してください。私たちの罪の身代わりとなって十字架で死んで、よみがえられたイエスさまを信じるなら、罪が赦され、罪のさばきに会うことがなく、天国に行くことができ、永遠のいのちが与えられるのです。



◆お祈り

「救い主イエスさまを信じて、罪のさばきに会うことがありませんように。」

(港南福音教会牧師 鴫田典子)